

「春の福島市火災予防運動」を実施します

防火標語：「消しましょう その火その時 その場所で」



この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする犠牲者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

実施期間：平成29年3月1日（水）～3月7日（火）

主 な 行 事

1 一般家庭防火指導

- (1) 実施日時：平成29年3月4日（土）9時00分～11時00分
平成29年3月5日（日）9時00分～11時00分
- (2) 実施内容：消防署員と消防団員が一般家庭を訪問し、住宅用火災警報器の設置状況調査と防火指導を実施します。
- (3) 実施地区：
 - 福島消防署
実施場所：南向台一丁目地区
実施機関：福島消防署・福島市消防団第7分団
 - 福島消防署 清水分署
実施場所：御山地区
実施機関：福島消防署清水分署・福島市消防団第9分団
 - 福島消防署 西出張所
実施場所：町庭坂内町地区
実施機関：福島消防署西出張所・福島市消防団第37分団



2 消防フェア

- (1) 実施日時：平成29年3月4日（土）
10時30分～12時00分
- (2) 実施場所：ヨークベニマル矢野目店
- (3) 実施機関：福島市女性防火クラブ連絡協議会、
福島市消防本部予防課、福島県消防保安課、
一般社団法人福島県消防設備協会
- (4) 実施内容：防災グッズの抽選会、非常食の試食会、
起震車体験、初期消火訓練、
住宅用火災警報器の展示説明、ももりん・キビタンとの記念撮影など



平成27年度消防フェアの様子

平成28年の福島市火災状況

福島市の火災件数は68件（前年比20件減）で、火災による死者は5人（前年比1人増）でした。火災種別では、建物火災が46件でトップ、次いでその他の火災が14件、車両火災が8件の順になっています。出火原因別では、放火・放火の疑いによるものが12件と最多であり、地域ぐるみで放火されない環境づくりに努めることが大切です。

火災種別件数

火災種別	件数
建物火災	46
その他の火災	14
車両火災	8
林野火災	0
合計	68

原因別件数

1位
放火・放火の疑い
12件

2位
こんろ 9件

3位
たき火 7件



春季、秋季の火災予防運動の期間をご存知ですか？
春季火災予防運動は『消防記念日』とされる3月7日を最終日に1週間、秋季火災予防運動は『119番の日』とされる11月9日を始めた1週間となっています！

『平成二十八年度 全国統一防火標語
消しましよその火うその時
その場所』

編集・発行 福島消防署
福島市天神町14番25号
TEL 534-9105
FAX 535-0120
平成29年3月号

	火災	救急
福島市	9	1205
福島署管内	5	621

 平成29年1月31日現在

119番通報するときは！！

～有効な119番通報をするための4つのポイント～



119番
消防です！
火事ですか？
救急ですか？

皆さんは119番通報をしたことがありますか？「119番」が消防機関に繋がることはご存じだとは思いますが、実際に体験される方は少ないかと思えます。万が一の事態に備え、以下の点を覚えておくようにしましょう。

- 1 固定電話（コードレス電話機）から優先的に通報してください。通報電話の正確な位置情報が得られ、要請場所を特定する時間の短縮になります。
- 2 消防車や救急車が向かう住所をあわてず落ち着いて答えてください。
- 3 通報が終わっても、消防本部からかけ直す場合があるので、消防隊や救急隊が到着するまでは他への電話は控えてください。
- 4 通報中に、煙や火などが迫り危険を感じたら、すぐに避難してください。

その警報器、しっかり鳴りますか？

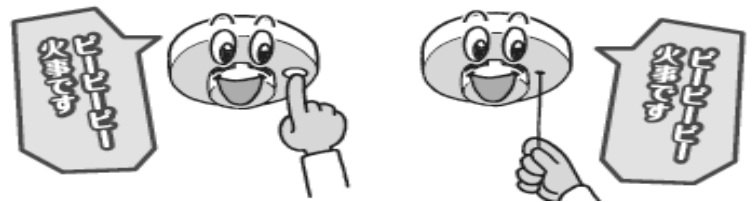


住宅用火災警報器の作動確認をしましょう！

平成23年6月1日から、住宅用火災報知器の設置が義務付けられてすでに5年以上が経過し、まもなく10年を迎えるものも少なくありません。定期的に作動を確認して、実際に音を聞きましょう。

作動確認のしかた

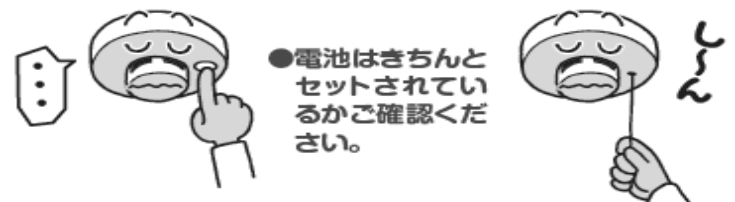
・住宅用火災警報器についている、点検用ボタンもしくは点検用ひもを引き、警報音や音声流れれば正常です。



作動しないときは以下のことが考えられます

- ・電池がきちんとセットされているか確認してください。
- ・それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いいたします。



—消防コラム—

『日頃の挨拶から命を守る！』

「こんにちは！」日頃からの通勤や通学、ちょっとしたゴミ捨てに行く際にご近所様との挨拶はできていますか？

さて、東日本大震災から今年で6年という年月が流れようとしています。

災害から命を守るには、「自助」「共助」「公助」の連携が必要不可欠となります。

- 「自助」・・・自分で自分を助ける。
- 「共助」・・・家族や地域コミュニティで共に助け合う。
- 「公助」・・・行政による救助・支援のことです。

例えば、阪神淡路大震災において、ある特定の地域では倒壊家屋の下から救出された約95%の方々は、「自助」「共助」により助け出されたと言われています。防災対策には、災害発生を予見する予防対策、発生に伴う応急対策、災害後の復旧・復興対策という三段階があり、いずれも「自助・共助・公助」の三つの力が連携することが必要です！
みなさん！！地域防災活動に進んで参加してみませんか！！



消防本部ではホームページを開設しています。消防情報・救命処置・緊急休日診療当番医など豊富な情報が盛りだくさんです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ふくしまケイタイウェブ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/f/>

QRコード

